

# 『三次藩札』の効果もあってか

## 業況・売上・採算とも10ポイント以上の改善

### 消費税軽減税率の導入は是非二分

- ★ 「当面の経営上の問題点（複数回答）」について、1位が「需要の停滞」の150社。2位が「人材育成・確保」の54社。「ニーズの変化への対応」が50社で3位。
- ★ 「消費税軽減税率の導入」について、「10%に引き上げの段階で軽減税率を導入すべき」が48.6%（103社）で、「軽減税率は導入せず、単一の税率を維持すべき」が48.1%（102社）とほぼ同数。「財務省が提案した『還付制度』（食料品の2%を払い戻す）を導入」は、わずか3.3%（7社）。

平成27年7～9月期 三次商工会議所管内（旧三次市）景況調査【概要】

#### 三次商工会議所

平成27年9月に実施した第102回三次商工会議所管内（旧三次市）景況調査の結果は次のとおり。本調査は、三次商工会議所管内（旧三次市）の企業を対象に四半期ごとに実施するもので今回が102回目。市内の500事業所を抽出し、集計企業数は229社（小売業67社、卸売業28社、製造業33社、建設業57社、運輸・交通業14社、観光・サービス業30社）で回収率は45.8%。

#### 【概況】

今期（7～9月）の調査結果を見ると、自分の事業所の状況をどう見ているかを示す業況D.Iは、全業種平均で▲12.3と、3ヶ月前の前回調査から13.1ポイント改善した。業況が「かなり好転」と答えた事業所が全体の1.8%、「やや好転」が17.6%で、逆に「やや悪化」が23.8%、「かなり悪化」が7.9%だった。売上D.Iも▲25.4から10.9ポイント改善の▲14.5。採算D.Iも▲28.4から▲17.5とすべてのD.I値が10ポイント以上の改善。夏の商戦や新年度に入って公共投資などが始まったという季節的な要因もあるが、前年同時期（平成26年7～9期）と比較してみても、今期は業況、売上、採算D.Iとも10ポイント以上改善しており、季節的要因以外での改善傾向も見られた。原材料（商品）仕入価格は下降傾向の28.1。

今回事業所に対し、「消費税軽減税率の導入についてどう思うか？」尋ねたところ、「10%に引き上げの段階で軽減税率を導入すべき」が103社（48.6%）に対し、「軽減税率は導入せず、単一の税率を維持すべき」が102社（48.1%）とほぼ同数。業種別では、製造業では「10%に引き上げの段階で軽減税率を導入すべき」と回答した割合が多く、逆に小売業では「軽減税率は導入せず、単一の税率を維持すべき」と回答した割合が多かった。その他の4業種ではほぼ同数。「単一の税率を維持すべき」と回答した理由（2つ選択）については、「軽減税率の対象かどうか線引きが分かりにくくなる」が25.6%と最も多く、「適応する品目の選定が難しく、品目間で不公平が生じる」22.6%、「減収影響額が大きくなり、将来の負担増を迫られる」20.6%、「事務負担が増加する」20.1%と続いた。

※ DI値（景況判断指数）について

DI値は、業況・売上・採算などの各項目についての、判断の状況を示す。

ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものでなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味する。

業況DI (好転割合) - (悪化割合)

売上DI (増加割合) - (減少割合)

採算DI (好転割合) - (悪化割合)

**業況**は、全業種合計で今期▲12.3。業種別では、卸売業と製造業を除く4業種で改善。最も改善幅が大きかったのが小売業で24.4ポイント（▲40.8→▲16.4）。

**売上**は、全業種合計で今期▲14.5。業種別では、業況同様、卸売業と製造業を除く4業種で改善。小売業（▲35.7→▲19.4）、建設業（▲33.9→▲14.3）、運輸・交通業（▲29.4→0.0）が15ポイント以上の改善。主な要因としては「季節的な増加」と「取引先の好転・増加」

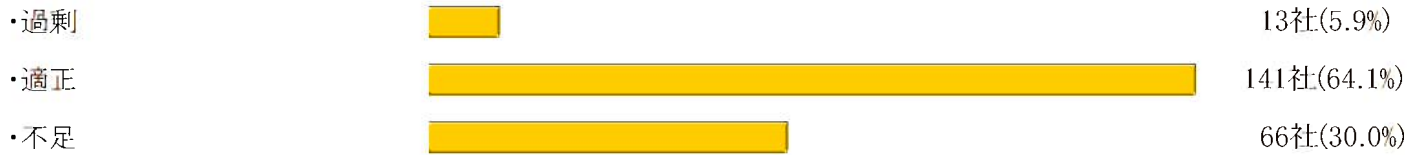
**原材料（商品）仕入価格**は、全業種合計で今期28.1。来期見通しは22.8と若干下降傾向。

**採算**は、全業種合計で今期▲17.5。業種間で改善幅に差はあるものの、すべての業種で改善。好転理由の約8割が「売上の増加」で、「売上単価の上昇」と「売上原価（仕入・原材料費）の低下」が続く。

【当面の経営上の問題点】(上位三項目・複数回答)



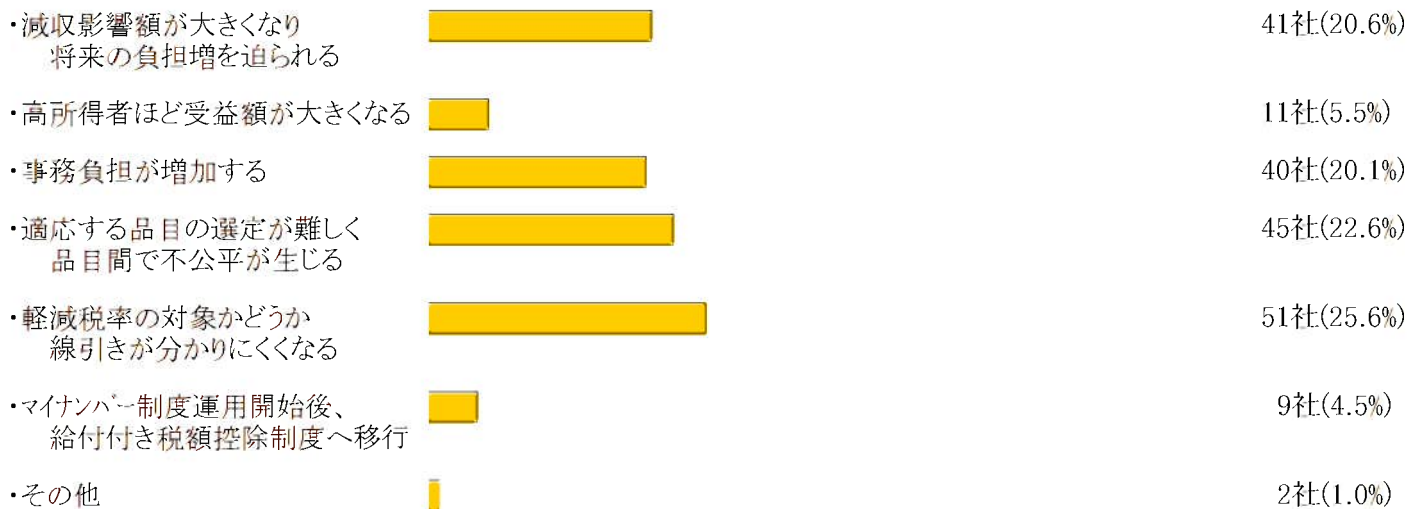
【現在の雇用人員についてどのようにお考えでしょうか？】



【消費税軽減税率の導入についてどう思われますか？(考えとして最も近いものを選んでください)】



【「単一の税率を維持すべき」を選択した方のみお答えください。理由として最も近いのは？】(2つ選択)



※百分率は有効回答数を分母として算出

【業況DI】

	前期に比べ	来期見通し
全業種	▲ 12.3	▲ 15.0
小売業	▲ 16.4	▲ 21.2
卸売業	▲ 14.3	▲ 21.4
製造業	▲ 24.2	6.1
建設業	▲ 7.0	▲ 24.6
運輸・交通	▲ 7.1	21.4
サービス業	0.0	▲ 17.9

(好転割合－悪化割合)

【売上DI】

	前期に比べ	来期見通し
全業種	▲ 14.5	▲ 16.4
小売業	▲ 19.4	▲ 18.2
卸売業	▲ 17.9	▲ 14.3
製造業	▲ 18.2	3.0
建設業	▲ 14.3	▲ 32.7
運輸・交通	0.0	21.4
サービス業	▲ 3.4	▲ 24.1

(増加割合－減少割合)

【採算(営業利益)DI】

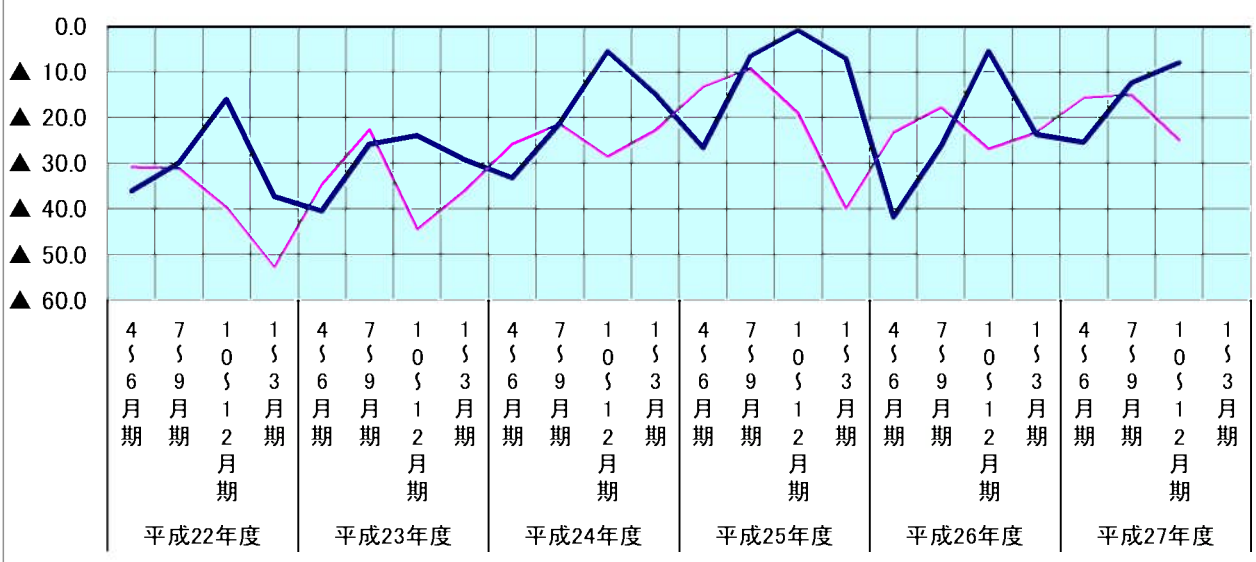
	前期に比べ	来期見通し
全業種	▲ 17.5	▲ 23.5
小売業	▲ 16.4	▲ 28.8
卸売業	▲ 25.0	▲ 28.6
製造業	▲ 18.2	▲ 9.1
建設業	▲ 24.6	▲ 33.9
運輸・交通	7.1	7.1
サービス業	▲ 10.3	▲ 17.2

(好転割合－悪化割合)

# 全業種

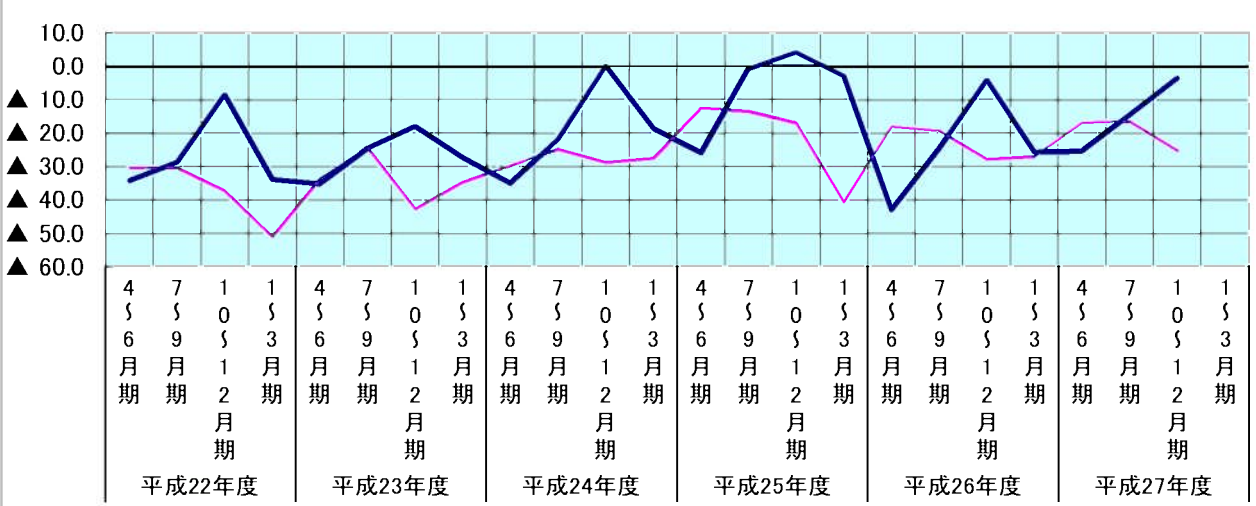
## 業況D.I.の推移

前期比 来期見通し



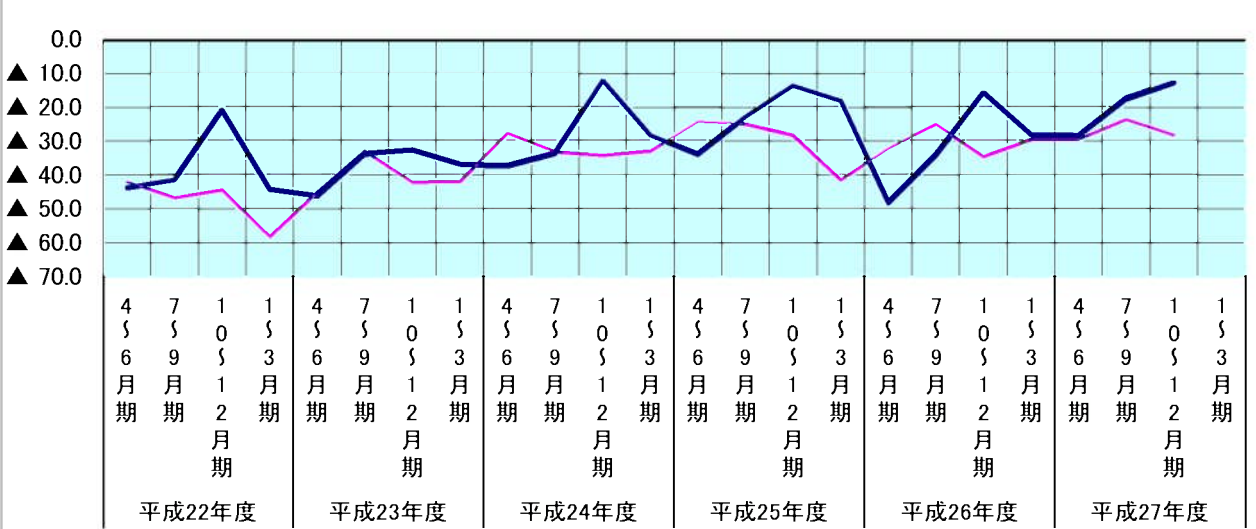
## 売上D.I.の推移

前期比 来期見通し



## 採算D.I.の推移

前期比 来期見通し



【景気天気図】

業 種	項 目	業 況	売 上	採 算
小 売 業	7月～9月 実 績			
	10月～12月 見 通し			
卸 売 業	7月～9月 実 績			
	10月～12月 見 通し			
製 造 業 (工 業)	7月～9月 実 績			
	10月～12月 見 通し			
建 設 業	7月～9月 実 績			
	10月～12月 見 通し			
運 輸・交 通 業	7月～9月 実 績			
	10月～12月 見 通し			
観 光 サ ー ビ ス 業	7月～9月 実 績			
	10月～12月 見 通し			

景気天気図の説明

大変良い	良い	まあまあ	少し悪い	悪い	大変悪い